

「大学の世界展開力強化事業」海外相手大学の追加について

採択 年度	タイプ	大学名	設 置	構想名	相手大学	相手大学追加	追加の理由	新たな海外相手大学の参画に伴う交流学生の増加数				
								R6	R7	R8	R9	R10
								派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数
R6	EU諸 国等	京都工芸繊維大学	国	3×3 教育制度の活用による グローバルな次世代マテリアル 人材育成プログラム	オルレアン大学（フランス）、ウーディネ大学（イタリア）、ペニス大学カ・フォスカリ校（イタリ ア）、リュブリャナ大学（スロベニア）、バレンシア大学（スペイン） <計5機関>	【オランダ】トゥウェンテ大学 <計1機関 >	トゥウェンテ大学は、特に、理工学部におけるMESA+ Instituteにおいて、半導体を主としたナノテクノロジー技術の開発を推進している。本学の電気電子 工学系との共同研究をベースとした多様な連携が期待でき、構想するマテリアルTECH LEADER育成の実現に一層資する大学といえる。中でも、ナノフォ トニクスの分野においては、2018年より教員間および教員－現地学生間での密接な連携を実施してきた。この関係に基づき、当初から本事業への参画を検 討してきたが、先方での学内手続きに時間を要し、申請時点での計画に含むことができなかった。その後、参画の同意を公式に得ることができ、学部レベル でも、個々の研究室レベルでも、学生の派遣・受入の準備は万全である。本学からは、トゥウェンテ大学での研究に意欲的、かつ、本事業計画に合致する学 部4年次（3×3 教育制度における博士前期課程0年次）学生を早々に派遣する計画も立てており、来年度以降、双方向交流へと交流規模・期間 の拡大を図る。現地での学会発表などの交流を通じて、世界に通用するナノテクノロジーの研究者・技術者としての成長を期待できる。また、共同研究の実 施を通じて、国際共著論文・国際学会発表数の増加も予定している。	0	2	2	2	2
								0	2	2	2	2
R5	米国	関西大学（東 北大学、千葉大 学）	国	Blended Moblity Project （BMX）で生み出す 「Society 5.0人材」の育成 とそのインフラの創出	クレムソン大学（米国）、コーネル大学（米国）、デポール大学（米国）、ニューヨーク州立 ファッション工科大学（米国）、フロリダ国際大学（米国）、ハワイ大学カピオラニコミュニティカ レッジ（米国）、ノースカロライナ州立大学（米国）、北アリゾナ大学（米国）、ポートランド州 立大学（米国）、オハイオ州立大学（米国）、ノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）、 ハワイ大学ヒロ校（米国）、ハワイ大学マノア校（米国）、サンパウロ州立パウリスタ大学（ブラ ジル）、ウェスタン大学（カナダ）、ケバングサン大学（マレーシア）、サン・ペドロ・カレッジ（フィ ピン）、南洋ポリテクニク（シンガポール）、CEUカルデナル・エレラ大学（スペイン）、東呉 大学（台湾）、バンヤピワット経営大学（タイ）、カリフォルニア大学（米国）、ペンシルベニア 州立大学（米国）、ノースカロライナ大学シャーロット校（米国）、ペイラー大学（米国）、ワ シントン大学（米国）、モンタナ大学（米国）、テンブル大学（米国）、ウォータールー大学 （カナダ）、マラヤ大学（マレーシア）、アラバマ大学（米国）、シンシナティ大学（米国）、 ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校（米国）、ニュースクール大学（米国）、レジャイナ大 学（米国） <計35機関>	【米国】メイン大学 <計1機関>	2024年度春季休業中の短期海外研修（教員引率型）として、メイン大学に学生5名程度を派遣する新たなプログラムを実施する。継続的な学生交流 を目指し、来年度以降も毎年同時期にプログラムを行う計画である。参加学生は、メイン大学の学術的強みである「持続可能な開発」分野を中心に、テ ーマ学習や課題解決型プロジェクト、フィールドワーク等に取り組む。学生のグローバル・マインドセットを培い、異文化環境で学んだり、より長期の留学に挑戦し たりするレディネスを高めることで、帰国後の段階的な国際研鑽を促す効果が期待される。プログラムは全学教育科目「海外短期研修（展開B）」として実 施され、学務審議会に設置の国際教育委員会を中心として質の保証に取り組む。委員会で所定の成績を収めたと認定された学生には、2単位が付与さ れる予定である。また、この連携により、メイン大学から本学へ留学する学生数の増加も期待される。派遣・受入双方の活性化を目指す。	5	5	5	5	
								0	5	5	5	
R6	EU諸 国等	筑波大学	国	ナノ・量子・情報・生命分野 融合の国際連携プログラム	グルノーブル・アルプ大学（フランス）、ルール大学ボーフム（ドイツ）、ルーベン・カトリック大学 （ベルギー）、ボン大学（ドイツ）、ユトレヒト大学（オランダ） <計5機関>	【フランス】ボルドー大学 <計1機関>	本事業は、欧州の5つの主要大学との間で半導体・ナノテク、先端材料、量子物理、情報理工、生命・環境の各分野ならびにそれらの学際領域で学生の 交流プログラムを実施する計画であったが、特に生命・環境分野でこれまで本学と交流実績のあるボルドー大学を新たに交流相手に加え、当該分野の交流 を強化する。ボルドー大学は本学のCampus-in-Campus構想のパートナー校であり、生命分野で修士課程ダブルディグリープログラムを実施するなど、既 に大学院修士レベルの交流実績があり、それをさらに発展させることで、本事業の目的であるグローバール人材の育成にさらなる貢献が期待できる。具体的 な交流プログラムは、本事業計画の構想に沿って、既存のダブルディグリープログラムに参加する学生の増加を図るとともに、新たに生命分野の履修コースを設 置し、また共同特別講義を開講する。本事業の構想では、生命・環境分野は主としてグルノーブル・アルプ大学、ルーベン・カトリック大学との交流を行う計画 であったが、それに加えて、ボルドー大学との間でより多くの学生の派遣・受入を行うことができれば、互いの相乗効果により、同分野での学生交流をさらに活 性化できると期待される。	2	10	12	15	15
								2	10	12	15	15
R5	米国	名古屋大学	国	微分型成長を重視した分野 横断型日米協創人材育成	ノースカロライナ州立大学（米国）、ミシガン大学（米国）、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 （米国）、ワシントン大学（米国）、ノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）、ジョンスホ プキンス大学（米国）、デューク大学（米国）、チューレン大学（米国）、東ミシガン大学（米 国） <計9機関>	【米国】ニューヨーク大学、カリフォルニア 大学デービス校、コロラド大学ボルダー 校 <計3機関>	【ニューヨーク大学】2025年度からニューヨーク大学が世界展開力強化事業の対象大学に加わることで、従前から有する大学間の学生交換プログラムによる 枠組みの他、工学部が行うサマープログラム（SILP）への短期学生受入、大学院レベルの研究留学等、同大学との更なる交流の深化に繋がるとともに、 全米屈指のトップ校であるニューヨーク大学が本事業に参画することで、本事業の質を一層向上させることができる。ニューヨーク大学との大学間協定更新交 渉の都合により、本事業申請当初に対象大学とすることが叶わなかったが、2024年10月付けで、大学間協定の更新を行ったため、対象大学の追加を申 請するものである。 【カリフォルニア大学デービス校】カリフォルニア大学デービス校について、同大学グローバルオフィスおよび医学部と連携し、相互派遣プログラムを実施予定であ る。医学部を中心に短期派遣プログラムを実施し、教育に重点を置いた大学間連携を推進する。また、オンライン教育を活用した事前学習や遠隔での共同 プロジェクトを検討し、幅広い学生に参加機会を提供する。本学学生への効果として、同大学は多くの留学生を受け入れる国際色豊かな大学として有名で あり、異文化理解の深化と国際的視野の拡大、また、実践的な学びの強化が期待される。同大学は米国を代表する大学の一つであり、その教育環境は 高く評価されている。今後は同大学との学生交流を中心に連携を進め、将来的に学際的協働の拡充を図りたい。それにより、国際ランキングの向上、持続 可能な連携体制の構築が期待される。 【コロラド大学ボルダー校】本学では日米合同のオンラインプログラムを昨年度実施した。このオンラインプログラムがコロラド大学の教員から高く評価され、この たび共同プログラムとしての実施が決定した。ボルダー校はアントレプレナーシップ教育が非常に盛んであり、ニューベンチャーチャレンジという特徴的なプログラム を行っている。彼らの持つノウハウをプログラムに統合することで、より実践的かつ先進的な国際教育を実現したいと考えている。コロラド大学ボルダー校は、 2025年3月に実施予定の日米合同のプログラムに正式に参加を予定している。同プログラムでは、両大学の学生が共同で「高齢化社会」をテーマにアイデ アを出し合い、解決策を提案するオンラインプログラムとなっている。ボルダー校の教員を迎え、ニューベンチャーチャレンジのアプローチを活用し、アントレプレナ ーシップ教育を実施する。また、来年度には同大学の学生を本学に迎え入れ、オンライン事前交流と対面活動を組み合わせたより深い協働体験を提供する。 新たな連携により学生の国際的な視野を広げ、実践的な問題解決スキルを育成することが可能である。		6	8	8	
									24	28	28	
R4	インド 太平 洋	お茶の水女子大学	国	グローバルリーダー育成のため の「女子大学発」実学型 EDIプログラム	イーストアングリア大学（英国）、シドニー工科大学（オーストラリア）、セントメアリーズ大学 （米国）、ブレスシア大学（カナダ）、International Pacific University New Zealand （ニュージーランド）ラ・リオハ大学（スペイン） <計6機関>	【インド】インド工科大学ハイデラバード 校 <計1機関>	インド南部のテランガーナ州の首都ハイデラバードに2008年に設立された科学技術分野のトップレベルの教育研究機関であり、工学分野においてインド国 内でトップ10にランキングされている。工学、応用科学、デザイン、その他学際的分野の学士課程を有し、600人以上の学部生が学んでいる。また、修士課 程と博士課程には1,000人を超える大学院生が在籍している。 2024年度に本学のグローバルインターンシップで本学学生を受け入れた企業が、インド工科大学ハイデラバード校における教育プログラムの促進に携わって いたため、日印大学等フォーラム等を通じてインド工科大学学長や教員と面談し、学生交流や連携の強化について協議した結果、今回海外相手大学の 追加の手続き申請となった。インド国内屈指の工科大学として入学難易度も高く、科目群についても学際的分野に関連科目が多いため、質の保証等につ いては、問題ないと判断している。				1	1
											0	1